



交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第57号
VOL.57

八戸国際交流協会

Hachinohe International Relations Association

2016年12月発行

Published December 2016

アイスホッケーで国際交流！



今回は、八戸市のアイスホッケーチーム「SPCジャパン」の取材をしてきました。外国人選手も所属するチームで、実体験を通じて文化の違いからの苦労話など貴重なお話を聞くことができました。文化は違えども、皆アイスホッケーに対する思いは変わらないことに感心しました。

→詳しい内容については、5ページをご覧ください。

交流するともっと
わかる世界のこと。

Index

P2~3... 第6回国際交流フェスタ in はちのへ
P4 ハロウィンツアー
P5 アイスホッケー-社会人チームでの国際交流
P6~7... 八戸学院光星高等学校
国際交流活動紹介

P8~9... 八戸学院大学・短期大学
国際交流活動紹介
P10..... 国際交流員マッシューのコーナー
P11..... ALT 紹介、HIRA からのお知らせ
P12..... 外国人住民用「ほっとスルメール」登録者募集中

会員数 個人 177 団体 55 (平成28年12月現在)

第6回 国際交流フェスタ in はちのへ

平成28年8月28日(日)、今年も国際交流フェスタを開催しました。今回のフェスタは八戸地域に暮らす外国人との交流をメインとし、はっちひろばに在住外国人による「文化紹介・交流ブース」を設け、各国のお菓子やお茶を味わいながら、クイズやゲームをして交流を楽しみました。

また、はっちひろば、シアター1、シアター2の各ブースでスタンプを集めると景品がもらえる「スタンプラリー」や「外国人による 日本の歌 のど自慢」などもフェスタを盛り上げていました。

少しリニューアルしました!



各国文化紹介・交流ブース



アメリカブース

英語での自己紹介、アメリカのチョコを食べながら、初級英会話での交流です。



韓国ブース

チマチョゴリでの出迎えです。自分の名前を韓国語で書いてもらい、韓国といえば、やはりチヂミの試食です。



ウルスラ高校留学生ブース

タイの首都の正式名やタイの宗教などのクイズと、雷おこしのようなタイのお米のお菓子を楽しみました。



多国籍ブース

みちのく国際日本語教育センターで日本語を学んでいる外国人との交流です。日本語での連想ゲームをし、いろいろな国のお菓子をいただきました。



JICAブース

モンゴルのおもちゃ「シャガイ(羊の骨)」を転がし、面の出方で遊び、モンゴルのお茶をいただきました。モンゴルのお茶には、牛乳、塩、バターが入っています。

シアター1



抹茶・中国茶体験やALTとのクラフト作り
魚釣りゲームなどで盛況でした。

外国人による 日本の歌 のど自慢

今回初めてのど自慢を実施しました。参加者は6人で、出身国はアメリカ、中国、イギリスなどでした。曲は、まつり(北島三郎)、海の声(桐谷健太)、手紙~十五の君へ(アンジェラアキ)などと、バラエティに富んでおり、武輪審査委員長は、「みなさん、テレビに出てもおかしくないくらい、たいへん素晴らしい、鳥肌が立った。来年もぜひ、外国人の方の歌声を聞きたい。」と感想を述べていました。

優勝者と準優勝者にインタビュー

優勝者 マイケル・ナイツ **曲名** なんにもない[ゆず]
 「はじめてのコンテストで、緊張したけれど、優勝できてうれしい。ゆず、いきものがかり、槇原敬之の曲が好きでよく歌っている。」

準優勝者 ソフィ・ルーベキング **曲名** めざせポケモンマスター[松本梨香]
 「カラオケではアニメソングを歌うことが多い。この曲は、会場が楽しく、盛り上がると思ったので選んだ。」



熱唱してくれたみなさん

シアター2 市内の高校・大学の国際交流活動や姉妹・友好都市の紹介、クイズなどを行いました。



書道作品はカンボジアからの留学生によるもの

エンディング

世界の言葉(フランス語、ロシア語、モンゴル語、中国語、英語、日本語)で「ありがとう」と、国際交流フェスタが盛大に開催できたことに感謝し、その後、ポルトガルの明るいアップテンポな曲に合わせ、八幡馬風の振り付けで、輪になって踊り、楽しかった国際交流フェスタを終えました。

毎年、オープニングコーラスをいただいている「グリーン・マム」、パネル展にご協力いただいたウルスラ学院、八戸学院光星高校、工大二高、八戸高専、工業大学、八戸学院大学・短期大学、その他ボランティアをはじめご協力をいただいた皆様ありがとうございました。



世界の言葉でありがとう



八幡馬風の踊り

HAPPY HALLOWEEN

平成28年10月30日(日)に開催したハロウィンツアーの様子を紹介しますね。



みんなカワイイ♪
ワクワク・ドキドキ
コスチュームショー

フェイス・ペインティング
どれにしようかなあ～

ツアーで、お菓子を
いっぱいもらったよ!

プレイパークも
面白そうだなあ!

くもの巣、犬、蝶々など

合言葉はOK? もちろんよ!

お互いに、大変丁寧に礼儀正しい!

輪投げ

パンプキンポンポン

お菓子釣り

ツアー終了後の記念写真
楽しかったかな?

今年もたくさん子どもたちが参加してくれました。
ご協力いただきました中心街商店街の皆様、ボラン
ティアスタッフの皆さんありがとうございました。

アイスホッケー社会人チームでの国際交流



八戸市はアイスホッケーの街として自負しています。数あるアイスホッケーのチームの中には、外国人選手が参加して、日本人プレーヤーと一緒に冬のスポーツを楽しんでいるチームもあります。今回は、その中の1つ「SPC ジャパン」に、お互いにどのようにコミュニケーションを取っているか、お話を伺いました。



今では八戸在住25年、日本語も分かるカナダ人のマイケル・モリス (Michael Morris) さん。来八当初は日本語が分かりませんでした。ゲームのルール及び試合中の動きは万国共通なので、チームメートになれたそうです。しかしそれ以外でもコミュニケーションをとれたかったので、辞書を片手にチームメートとコミュニケーションを図り、今に至っています。

■マイケル・モリスさん

「おい、どいてくれ! って日本語で何て言うの?」それは私のチームのゴールキーパーのブライアンに聞かれた質問でした。ブライアンはアメリカ人で日本語が話せませんが、アイスホッケーが好きな若者です。私たちのチームにはゴールキーパーが必要でした

ので、彼をチームに誘ってみました。初め、キャプテンの林つよしさんは、彼がチームの他のメンバーとうまくやってくれるかと少し不安に思っていたようですが、最初の試合後、たくさんジェスチャーしたり、ゆっくり話したり、私が少し翻訳をすることでなんとかうまくやることができました。



■林キャプテン

すでにチームの一員となっていたマイケルから、米軍三沢基地にアイスホッケー経験者がいるが、選手間のレベルの違いなどから、三沢市には彼らを受け入れるチームが無いと、彼らを私たちのチームへ誘ってはどうかという打診がありました。チームの平均年齢は50歳、新人が入らない状況だったので、大好きなアイスホッケーをもっと楽しむ為には良いチャンスと思いました。ただ言葉が通じない状況をどうしようかと思いましたが、マイケルが通訳者となって仲介してくれるということで、チームメートも納得しました。

参加してくれた20代のアメリカ人プレーヤーたちは、スピード、激しさを求めて八戸のリーグに参加してきており、試合中に相手選手にガンガンボディチェックするし、キーパーは大きく前に出るなど、日本のホッケースタイルと違っていました。そのため、「彼に当たらないように!」、「キーパーは所定の場所で構えている!」と、試合中及びハーフタイムに、八戸とアメリカのホッケースタイルの違いを、マイケルを通じて何度も説明してきました。

今では、ベテランプレーヤーのチームメートが、面白いおもちゃを彼らに持ってきたり、今流行りの、ペンパイナッポーアッポーペン (PPAP) の画面を見ながら大笑いしたり、楽しくやっています。



■観戦記

アメリカ人プレーヤーたちは、シュートを防いだときはガッツポーズをしたり、逆に、点を立て続けに入れられた時には悔しい気持ちを出していました。そのとき、日本人のチームメートはそばに寄り、賞賛や励ましの声をかけていますが、実はお互いに何を言っているか分からないそうです。それでもお互いを思いやる気持ちからの行動です。これが草の根国際交流の面白いところではないでしょうか。



国際交流活動紹介

八戸学院光星高等学校

光星高校では、米軍三沢基地内にあるエドグレン高校との交流、カンボジアや台湾からの留学生の受け入れといった国際交流活動を行っています。今回は、これらの活動と今年の国際交流フェスタinはちのへ(2.3ページ参照)に参加した生徒さんの感想を紹介します。

エドグレン高校(米軍三沢基地内)との交流活動

光星高校とエドグレン高校は2013年に姉妹校提携を締結し、交流活動を行っています。具体的には、お互いの卒業式への参加、光星高校の文化祭「光星祭」へのエドグレン高校の生徒の招待、また、エドグレン高校が主催するダンスパーティーや吹奏楽コンサートに光星高校の生徒が参加することもあります。これらの交流活動を通して、英語が通じる楽しさを感じたり、異文化に興味を持つ生徒さんも多いそうです。



ダンスパーティーの様子。とても楽しそうです。



吹奏楽でのコラボ交流。真剣です。

留学生の受け入れ(カンボジア、台湾)

現在、光星高校で受け入れているのは、カンボジアからの短期留学生と台湾からの野球留学生です。カンボジアでは、近年、日本企業の進出が増えていることもあり、日本語を話せる人材の需要が高いそうです。カンボジアからの留学生受け入れは、現地の日本人の地雷処理活動家との縁で平成22年に始まり、これまでに4人の留学生が光星高校で学びました。留学生と接した光星高校の生徒がカンボジアに関心を持ち、それを他の人にも知ってもらいたいという思いと、各留学生が日本とカンボジアの架け橋になろうとする思い、交流で生まれた若者の思いには大人も元気づけられますね。それから、野球留学生がいるとは、さすが光星高校です。将来、光星高校の野球留学生からプロ野球選手が出てくるのを楽しみにしたいです。



昨年度の留学生ニエンさん(写真中央)のお別れパーティの様子。



今年度の留学生チーエさん。現在はカンボジアの大学で日本語を専攻しています。

国際交流フェスタ in はちのへ

今年8月に開催された国際交流フェスタinはちのへで光星高校の国際交流活動について紹介しました。当日は、パネルを用意して、来場者からの質問に答えました。参加した生徒さんの感想を紹介します。



カンボジアの文字ってむずかしそうだな。(書道作品一番上)

<大島 美紅さん>

国際交流フェスタに参加して、普段体験できないようなことを体験できました。様々な国のブースに行き、その国の言葉や文化、食べ物などを知ることができました。それぞれの国の人と交流することはなかなかないので、参加して良かったと思います。また機会があったら積極的に参加し、様々な国の文化などを知ることができたらいいなと思いました。

<東田 悠さん>

国際交流フェスタでは、自分たちの活動をたくさんの方々々に伝えることができ嬉しかったです。特に光星の活動に興味を持ってくれた人と話ができ良かった。また他校の国際交流の活動も見ることができて勉強になりました。

<吉田 美空さん>

国際交流フェスタでは、様々な国の人と会話をすることができました。タイ、アメリカ、韓国などの人たちが自分の国の文化について教えてくれたり、国の食べ物を食べさせてくれたりと、様々な国の人たちと交流することで、私の知らない文化について楽しく学ぶことができました。

国際交流フェスタでカンボジアについて発表をしましたが、見にいらしてくださったお客様にカンボジアを知ってもらえたので良かったです。



八戸学院大学・短期大学における国際交流活動は、主にアメリカ・タイでの海外研修及び米軍三沢基地をはじめとする在住外国人との交流を行っております。平成28年は、系列の高校も含めた留学支援制度を構築したことにより、16ヶ国44都市の語学学校・大学に短期・長期留学が可能となりました。それに伴い、留学費用の一部を補助する給付型語学研修奨学金制度も整備、地域のグローバル人材の育成を推進します。語学研修に応募し学内選考をパスした学生は、希望に沿ったプログラムを選択し、海外での語学研修を体験することになります。

訪日外国人たちとの交流

10月30日、日本政府の対日理解促進交流事業「JENESYS (ジェネシス) 2016」の一環で、南部町を訪問中のフィリピン、ミャンマー、ラオス、東ティモールの男女総勢110名の大学生と社会人が、学園祭が行われていた大学・短大を訪問しました。開講式では、案内役の学生が英語で自己紹介をするたびに、訪問団が喝采し、同世代の交流の幕開けとなりました。



訪日団への学内案内担当学生の自己紹介



学園祭での記念撮影



地元女性起業家と訪日団との交流

八戸学院大学では起業家養成講座を開講していることから、訪日団のメンバーの起業家と八戸地域の女性起業家との交流も行われました。今回訪日したアジア各国の人たちは全て英語を使用していました。今更ながら、国際標準語としての英語の必要性を感じた1日でした。ちなみに東ティモールでは、公用語はポルトガル語とテトゥン語、仕事では英語を使用し、それ以外にインドネシア語と、4ヶ国語を駆使します。

国際交流活動を目的としたサークル「One World(ワンワールド)」



大学・短期大学の学生が活動するサークル「ワンワールド」。自らの世界を広げることを目標に、顧問のグレゴリー・アンソニー先生の指導のもと、米軍三沢基地のアメリカ人や在住外国人との交流、海外研修への参加等を通して、異文化理解やコミュニケーション力向上をはかる活動をしています。

サークルの学生からは、当初は、自分の言っていることが正しいのかが気にするあまり、外国人と会っても逃げていたのが、アンソニー先生との会話、学外の外国人との交流を通して、積極的になってきている、との感想がありました。

今後は、自らも情報を集め、自ら動いて新たな交流ルートを構築できると素晴らしいですね！





国際交流員(CIR) マシューの コーナー!

As a CIR I have different types of work in City Hall, but one of my favorite activities is visiting local child care centers. When I visit these centers my main goal is not to teach English, but to enliven interest in learning English, in learning about people from different countries, and hopefully in learning in general.

CIRとして市役所で様々な仕事をしていますが、その中でも児童館や仲良しクラブを訪問することが特に好きです。そこでの目標は、英語が話せるようになることではありません。英語や外国人に興味を持つこと、そして学ぶこと自体に楽しさを見出してもらうことを目標に私は教えています。

My usual schedule for a visit to a child care center in the city begins with a brief meeting with the administrators of the facility. After that, I enter a room filled with anywhere from fifteen to forty young children of an assortment of ages, where I proceed to give a short self-introduction using a few pictures.

児童館や仲良しクラブに到着したら、まず始めに担当者の方々と打合せを行います。その後15人から40人ほどの、年齢も様々な子供たちが待つ部屋へ入り、実際に交流を行います。レッスンのために用意した写真や絵を使って、私の自己紹介から始めます。

Next follows one of the more interesting parts of the day, the Q&A time. Initially the kids are a bit shy and ask me only one or two basic questions, but as soon as there is a little momentum, the children start asking the most imaginative questions.

その日とても楽しみにしている質問タイムでは、最初は恥ずかしいからか、ベーシックな質問しか挙がりません。しかし少し経てば、好奇心旺盛で想像力に富んだ質問が出てきます。

When the Q&A time is over, I begin a simple lesson that I have prepared, after which I teach the children a game or two to help solidify the words and phrases I have taught while also having fun.

質問タイムの後は、私が用意してきた英語のレッスンを開始します。その後は学んだ単語とフレーズを使ってゲームをし、楽しみながら英語を教えています。

Taking care and working with children is demanding work that uses a lot of energy, but I think having the chance to spend a little time with smiling and energetic children is a very enriching experience.

子供たちのお世話をすることは、気力があるとても大変な仕事です。しかしエネルギーいっぱい笑顔に溢れた子供たちと一緒に過ごすことは、とても貴重な体験であると思っています。



八戸市の外国語指導助手(ALT)を紹介します

～今年の夏、5名の外国語指導助手(ALT)の方々が赴任しました～

 <p>氏名 モリン・ローレン Lauren Molin 出身地 アメリカ</p> <p>担当校 根城中・根城小・江南小・田面木小</p> <p>趣味 弓道、読書、野球とアイスホッケーの観戦、テレビゲーム</p>	 <p>氏名 ゴメズ・ドナリサ Donalisa Gomez 出身地 アメリカ</p> <p>担当校 東中・町畑小・旭ヶ丘小・美保野小</p> <p>趣味 アニメ鑑賞、コスプレ、裁縫、歌って踊ること</p>	 <p>氏名 ルイス スウィーニー・カーリントン Carington Lewis-Sweeney 出身地 アメリカ</p> <p>担当校 湊中・湊小・青潮小</p> <p>趣味 ブレイクダンス、新曲を聞くこと、ワンピースを読むこと</p>
   <p>氏名 カストロ・クリサンタ Crisanta Castro 出身地 フィリピン</p> <p>担当校 白銀中・白銀小・白鷗小</p> <p>趣味 読書、庭造り、料理</p>	 <p>氏名 ウィン・ディーン Dean Nguyen 出身地 アメリカ</p> <p>担当校 市川中・轟木小・桔梗野小・多賀台小・多賀小</p> <p>趣味 旅行、スノーボード、カラオケ、韓国ドラマ鑑賞</p>	  <p>よろしくね!</p>

HIRAからのお知らせ

八戸国際交流協会 会員及び準会員募集!

八戸国際交流協会の会員及び準会員^{*}を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会に推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年会費 個人1口 2,000円 団体1口 10,000円
会員の特典

- 協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。
 - 協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。
 - 協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等の特典があります。
- ※準会員は高校生・大学生等を対象とした会員制度です。
詳しくは協会HPをご覧ください。

八戸国際交流協会ボランティア募集!

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、**18歳以上**で、次に掲げる条件を満たす方です。

- 条件 (1)八戸市内に住所を有する方
(市内の事業所及び大学に通勤通学している方を含む。)
(2)国際交流に対する理解及び熱意がある方

- 活動内容
- ・通訳、翻訳
 - ・ホームステイ、ホームビジット受入
 - ・ツアーガイド
 - ・国際交流イベントの企画、従事など

ヒッポファミリークラブ

(英語はもちろん、いくつものことを楽しみながら、話せるようになりたいと思いませんか?)

「八戸会場のご案内」お気軽にどうぞ!!

- 水曜日 15時半～17時 南部会館
- 金曜日 18時半～20時半 南部会館
- 土曜日 18時～20時 ユートリー
- 火曜日 18時半～20時 中野コミュニティセンター
- その他午前中も随時開催

＜お申し込み・お問い合わせ＞

言語交流研究所ヒッポファミリークラブ
☎ 0120-557-761




とどろき保育園
認定こども園

〒039-2241
八戸市市川町字轟木前 34-3
TEL 0178-52-5511
FAX 0178-52-5503
ホームページ http://www.todoroki.info/

子育て支援センター「スマイルガーデン」



カメイ歯科

八戸市六日町23(コンサートホールとなり)
TEL 0178-22-0707

診療時間 平日 10:00～14:00 15:00～19:00
土曜 10:00～14:00

- ・六日町パーキング券
 - ・共通駐車券
- を差し上げております。

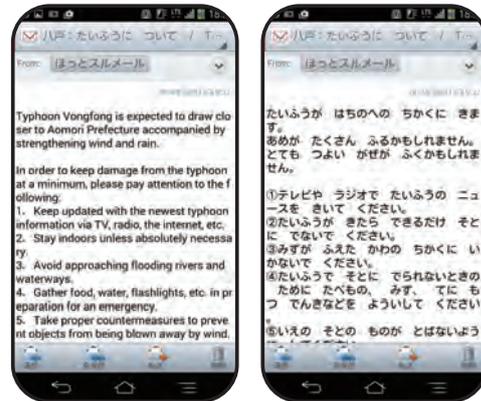
外国人住民用「ほっとスルメール」登録者募集中 Disaster Prevention Information Email in English and Easy Japanese

八戸市では、気象情報・緊急情報などを、外国人住民の皆さん向けに、英語・やさしい日本語(※)で配信しています。

※やさしい日本語とは、一般的な日本語よりも簡単で、外国人の皆さんにも分かりやすい日本語です。

Hotto Suru Email is a service that sends out disaster and safety information to cell-phone and PC email addresses.

Services are available in English and Easy Japanese.



料金

登録料及び情報利用料は無料です。
ただし、通信料は利用者の負担となります。

配信情報及び配信言語

- ① 津波情報 **日本語、英語、やさしい日本語で配信**
津波警報・津波注意報、津波に伴う避難情報
- ② 緊急情報 **英語またはやさしい日本語から選択**
地震・台風などの災害情報、避難勧告・指示や避難所開設情報
- ③ ライフライン情報 **英語またはやさしい日本語から選択**
電気・ガス・水道の事故などに関する情報
- ④ 火災発生情報 (希望者のみ) **日本語のみ**

登録方法

登録を希望する方は、次の情報を添えてお申し込みください。
・名前 ・住所 ・電話番号 ・メールアドレス
・希望の言語 (英語・やさしい日本語)
・火災情報の有無

Cost

Registration and information services are free.
However, telecommunication fees remain.

Information Sent

- ① Tsunami Information **available in Japanese, Easy Japanese and English**
tsunami advisories / warnings, evacuation information
- ② Emergency Information **available in English or Easy Japanese**
earthquakes, typhoons, evacuation advisories / warnings, the opening and location of evacuation centers
- ③ Lifeline Information **available in English or Easy Japanese**
problems with electricity, gas and water
- ④ Fire Disaster Information (optional) **only available in standard Japanese**

How to Register

Please apply with the following information.
・ name ・ address ・ phone number ・ email
・ desired language (English or Easy Japanese)
・ whether or not you wish to receive fire disaster information

お申込・お問合わせ Contact Information

八戸市 市民連携推進課 国際交流グループ
Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
〒031-8686 Hachinohe Uchimar 1-1-1

TEL 43-9257 FAX 47-1485 E-mail renkei@city.hachinohe.aomori.jp

外国人のお友達に
「ほっとスルメール」
のことを教えてあげて
くださいね!



こうみちゃん



編集後記

司馬遼太郎の著書『21世紀を生きる君たちへ』の中に、「自己に厳しく、相手にやさしくする訓練により自己が確立され、「頼もしい君たち」になっていくのである。」という一節があります。取材を通し、英語で話すことに自信を持たたという学生が多かったこと、また、関心を持った国を「みんなに知ってもらいたい」という強い思いで活動した学生のことを知り、うれしく思いました。外国人とのコミュニケーションは、一朝一夕には向上しません。今後もスキルを磨きながら、外国人とたくさん交流していきたいとのこと。多くの学生が「頼もしい君たち」になっていくことを応援しています。

編集スタッフ

編集長：川崎 康一
編集員：亀井 圭子 田頭 順子 松田 朋恵
宗石 美佐 橋本 淳一 山谷 あかり
マシュー・ボラ 阿部 静香 岩澤 このみ

発行・お申込・お問合わせ：
八戸国際交流協会 (八戸市市民連携推進課内)
〒031-8686 八戸市内丸1-1-1
TEL 0178-43-9257 FAX 0178-47-1485
E-mail info@hachinohe-hira.jp
http://hachinohe-hira.jp

印刷：新光印刷株式会社
〒031-0813 八戸市新井田字鷹清水9-11
TEL0178-34-5331 FAX0178-34-6078